



第14回DIAクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ

自覚と覚悟が拓くClinical Operation新時代への挑戦
—相互理解からの結実

2026年7月9日(木)・10日(金)・11日(土)特典企画スペシャルディスカッション
ハイブリッド開催 | 日本橋ライフサイエンスハブおよびオンライン(Zoom)
7月11日(土)はオンラインのみ



CALL FOR ABSTRACTS

- 応募期間: 2026年2月18日(水) ~ 3月31日(火)
- 結果通知: 2026年4月下旬(予定)

演題提出先: 右記Formsにご提出ください。[Forms] <https://forms.gle/MsfRGbarHFQcxxSu6>

以下の内容についてのポスターを募集しています。

- 治験運用の改善・効率化に資する取り組み
- コミュニティ活動の紹介や成果報告

※ Revival歓迎! すでに他学会や社内で発表済みの内容でも構いません。

新たな視点でのディスカッションを歓迎します。

募集数: 6枠程度(現地参加できる方)

対象者: 業界の課題解決に取り組むチーム・個人(若手実務者、歓迎)

概要

第14回クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップでは、「自覚と覚悟が拓くClinical Operation新時代への挑戦—相互理解からの結実」をテーマとして、みなさまと活発なディスカッションができるようなセッションをご用意しました。

私たちクリニカルオペレーションを取り巻く環境は、ICH E6 (R3) が日本でもStep4からStep5に移行するという大きな節目を迎え、GCP Renovation の最終章となるこの改訂によりこれまでにない変革期にあります。GCP省令改正に向けた検討会や各種方針が示され、私たちの世代が「10年以上変わっていない治験環境を変革する!」という気持ちで変化を推し進めています。

私たちクリニカルオペレーションのメンバーは、各種方針が示される以前から変革に注目し、主体的に議論を重ねてきました。一方で、現場に目を向けると、その歩みは一様ではなく、従来の慣習から抜け出せないことも多い現状を自覚する必要があります。我々はまさに“未完成”のスタートラインに立っており、これまでの積み重ねを次の一步につなげる局面にいます。

今、私たちに求められているのは、この新たな挑戦を自分事ととらえ、立場を超えて知見を融合し、新たな可能性を引き出す姿勢です。そして、対話の中から相互理解を重ね生み出したものが、これまでの慣習を乗り越え、これから医薬品開発を新時代へ導く原動力となります。本ワークショップでは、「何のために」「誰のために」臨床開発を行うのかをあらためて問い合わせし、それぞれが思い描く新時代のクリニカルオペレーションのあり方を語り合います。異なる立場や歩みが重なり合い、未完成だからこそ拓いていける未来へ向けて、小さくても確かな“一步”をともに踏み出す—そのようなワークショップとなることを目指します。

最後に、本年もワークショップ参加者と医療機関の方々を対象としたスペシャルディスカッションを3日目にWeb開催します。それぞれの本音を語り、相手をより理解できるDIAならではの機会として2021年より好評を頂いております。ワークショップの各セッションと共にこちらの機会も楽しみにご参加ください。なお、スペシャルディスカッションは本ワークショップとは別に事前登録が必要となりますのでご留意ください。

こんな想いを持つ方をお待ちしています

- 「学会発表だけで終わらせず、もっと本音で議論したい」
- 「所属を超えた仲間との活動成果を、広く知ってほしい」
- 「業務改善の小さなアイデアを、業界全体に広げたい」

本ワークショップは日本語で開催いたします。

展示 / ランチョンセミナー申込受付中

詳細については、ディー・アイ・エー ジャパンまでお問い合わせください。

スタートアップ・ベンチャー企業向け
の「新価格」を導入しました!

詳細は[こちら](#)をご参照ください。



DIA Japan

Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashi-honcho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Email: Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan |
India | Korea | Singapore & South East Asia

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAglobal.org

第14回DIAクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ

自覚と覚悟が拓くClinical Operation新時代への挑戦－相互理解からの結実

2026年7月9日(木)・10日(金)・11日(土)特典企画スペシャルディスカッション
ハイブリッド開催 日本橋ライフサイエンスハブおよびオンライン(Zoom)
7月11日(土)はオンラインのみ



ポスターセッション公募のお知らせ

～あなたの「現場の挑戦」や「活動成果」をシェアしませんか？～

本ワークショップでは、新たなディスカッションの場として、ポスター発表者を公募します。

あなたの現場での「挑戦」や、仲間との「活動成果」をさまざまな関係者と共有し、ディスカッションしてみませんか？率直な対話と相互理解が、業界の明日を変えるヒントになります。

■こんな想いを持つ方をお待ちしています

- ・「学会発表だけで終わらせず、もっと本音で議論したい」
- ・「所属を超えた仲間との活動成果を、広く知ってほしい」
- ・「業務改善の小さなアイデアを、業界全体に広げたい」

■募集要項

- ・募集数：6枠程度（現地参加できる方）
 - ・対象者：
 - ・業界の課題解決に取り組むチーム・個人（若手実務者、歓迎）
 - ・発表内容：
 - ・治験運用の改善・効率化に資する取り組み
 - ・コミュニティ活動の紹介や成果報告
- ※Revival歓迎！すでに他学会や社内で発表済みの内容でも構いません。
新たな視点でのディスカッションを歓迎します。

■選考について

- ・ご応募いただいた抄録は、当ワークショップのキーテーマ（自覚と覚悟・相互理解・変革への挑戦など）や業界貢献度に基づき査読を行います。
- ※特定製品や特定企業の宣伝・広告を主目的とする発表はお断りする場合がございます。

■発表方法について

「会場掲示」と「ステージ発表」の両方を行っていただきます。

1. ポスター掲示：

- ・サイズ：A0サイズ（縦向き・W841mm×H1189mm）1枚
- ・掲示時間：会場内に終日（2日間）掲示

2. ステージ発表（電子ポスター形式）：

- ・時間：発表5分 + 質疑応答3分
- ・形式：ポスターセッション時にステージ上で、モニターに投影された資料（PDF等）を用いてプレゼンテーションを行っていただきます。

■スケジュール

- ・応募期間：2026年2月18日（水）～3月31日（火）
- ・結果通知：2026年4月下旬（予定）

■演題提出先：下記Formsをご提出ください。

<https://forms.gle/MsfRGbarHFQcxxSu6>

- ポスターの発表者及び共著者（合計2名まで）は参加費に60%割引が適用されます。交通宿泊費は負担しません。

プログラム委員長

岡田 久美子 ファイザーR&D合同会社

プログラム委員

花島 孝之 ファイザーR&D合同会社

五百蔵 武士 神戸大学医学部附属病院

石橋 寿子 第一三共株式会社

岩花 未央子 アステラス製薬株式会社

南 健太朗 株式会社アイロムグループ

水上 真喜 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

小野崎 千晴 イーピーエス株式会社

田丸 一磨 国立がん研究センター

内田 正志 ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

プログラム副委員長

南條 和由 武田薬品工業株式会社

渡部 歌織 東京大学医学部附属病院

山崎 大路 MSD株式会社

プログラムアドバイザー

山内 美代子 中外製薬株式会社

DIA Japan COM Community Lead

井上 和紀 エイツーヘルスケア株式会社

DIA Japan Operation Team

窪田 有翔 エイツーヘルスケア株式会社

松永 英莉 第一三共株式会社

蓑原 豪人 筑波大学

森脇 拓郎 アッヴィ合同会社

岡田 憲明 エーザイ株式会社

柴山 春奈 パレクセル・インターナショナル株式会社

山本 華代 ノバルティスファーマ株式会社

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

新美 満洋